



ひらく
開

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

日に日に春の訪れを感じられるようになってきました。この時期は進学や就職などで各地に引越される方や、新たに朝霞に住まわれる方などが多くいらっしゃると思います。新生活の始まりはどうしても無理をしがちですので、心と体を十分に労わっていただきたいと思います。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、いよいよ来年に迫ってきました。陸上自衛隊朝霞駐屯地の朝霞訓練場が射撃の競技会場となっていますので、競技中は国内だけではなく世界中から多くのお客様が朝霞市にいらっしやると思います。この大イベントを盛り上げるとともに、この機会により多くの方々に本市を知っていただくこと、現在、多くの方々や団体のご協力をいただきながら様々な準備を進めている

ところです。この度、市でも協力し、競技会場の最寄り駅となる東武東上線の朝霞駅にホームドアが設置されることになりました。まずは池袋方面に向かう上り電車が発着する3・4番ホームで3月23日(土)から使用が開始されます。また、森林公園方面に向かう下りの1・2番ホームには、来年の3月末までに設置される予定です。オリンピックが開幕し、駅利用者の増加が見込まれる来年7月までには、朝霞駅のすべてのホームがより安全に利用できるようになりますので、少しお待ちいただければと思います。

ところで、朝霞の春の風物詩「黒目川花まつり」が、今年は3月30日(土)と31日(日)に開催されます。ちょうど東武東上線から見える黒目川沿いの桜並木や浜崎黒目花広場、朝霞県土整備事務所の駐車場などで、桜を眺めながらのカヌー体験や模擬店、特設ステージでの各種イベントなどでお楽しみいただけます。また、今年は花まつりにあわせて産業文化センターで、東京オリンピック・パラリンピックの500日前カウントダウンイベントを実施します。会場では、射撃競技をもっと多くの方に身近に感じてもらおうと、ビームライフル体験やクレー射撃のシミュレーターなどをご用意して皆さんのお越しをお待ちしています。花まつりの桜とともに、こちらもぜひお楽しみください。

では、また。

ハチに巣作りされない対策を！

問／環境推進課 ☎463-1504

ハチは樹木や野菜を食い荒らす毛虫などを捕獲し、大量発生を防ぐ益虫としての側面もあるため、人と接触する機会が少ない場所に巣がある場合には、そっとしておいてあげるのが一番です。しかし、家の周辺など人とハチが接触する機会が多い場所に巣ができてしまった場合には、人の安全確保のために、巣の駆除が必要になります。

4～6月ごろは、越冬に成功した女王バチが新たな巣を作る場所を探しているため、家の周りでハチを見かけたら巣作りをされないよう、早めに防除対策を実施し、巣が作られてしまったら早めに駆除することが大切です。

《ハチの巣の防除対策》

巣の出来やすい場所(巣を作られてしまった場所等)に、あらかじめ殺虫剤や木酢液などを吹きかけておくと、ハチを寄せ付けない効果があるとされています。薬剤を吹きかけても問題のない場所か確かめてから行ってください。雨などで流れてしまうため、こまめな吹き直しが必要です。

《ハチの巣を見つけたら》

巣に近づきすぎたり振動を与えたり、巣に刺激を与えないようにしてください。市では、人に危害を及ぼす恐れのあるスズメバチの巣に限り駆除を行います(飛んでいるハチやスズメバチ以外(アシナガバチ等)の巣の駆除は対象外です)。

《ハチの巣の特徴》

種類によって巣の形が異なります。スズメバチとアシナガバチの巣の特徴を紹介します。



・スズメバチの巣

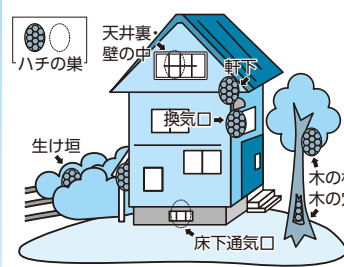
巣は球体になるものが多く、作り始めの時期(5～6月)はとっくりを逆さにしたような形で、マーブル模様が多いです。
※左の写真は巣を作り始めた初期のもので、最盛期(秋)には直径20cm程度の大きさになります。



・アシナガバチの巣

外部から個々の巣穴(六角形)が見え、お椀のような形をしています。
※左の写真は巣を作り始めた初期のもので、最盛期(秋)には直径15cm程度の大きさになります。

《ハチの巣の出来やすい場所》



ひとの推移

人口 14万0,106人 (+102人)
世帯数 6万5,308世帯 (+83世帯)

男 7万0,717人 (+47人)

女 6万9,389人 (+55人)

平成31年2月1日現在 () 内は前月比